

後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の概要

平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の総額は、6億7,500万円で、前年度の6億2,900万円に比べて4,600万円の増となり、伸率は7.3%の増となっています。

後期高齢者医療制度は、2か年度を1つの財政運営期間として保険料率を算定することとしており、今年度保険料率が見直しをされたことにより保険料は増となり神奈川県後期高齢者広域連合への納付金も増となっています。

また、保険証が後期高齢者医療制度が始まってから初めての一斉更新の年となっていることなどにより神奈川県後期高齢者広域連合の事務費負担金（共通経費）も増となっています。

歳入については、保険料は3億5,215万円で前年度に比べ4,044万円の増（対前年度伸率13.0%増）、一般会計繰入金は3億2,178万円で586万円の増（同1.9%増）となっており、その内訳は、医療給付費定率負担が2億4,759万円で32万円の減（同0.1%減）、保険料の軽減分が4,936万円で492万円の増（同11.1%増）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が1,132万円で58万円の増（同5.4%増）、町事務費が1,352万円で68万円の増（同5.3%増）となっています。

歳出については、後期高齢者医療広域連合納付金は6億6,043万円で、前年度に比べ4,562万円の増（同7.4%増）、納付金の内訳は、保険料負担金が3億5,215万円で4,044万円の増（同13.0%増）、保険基盤安定制度拠出金の県負担分が3,702万円で369万円の増（同11.1%増）、町負担分が1,234万円で123万円の増（同11.1%増）、広域連合の事務費負担金（共通経費）が1,132万円で58万円の増（同5.4%増）、医療給付費定率負担が2億4,759万円で32万円の減（同0.1%減）、延滞金が1万円（同0.0%）が主なもので、歳出全体の97.8%を占めています。

後期高齢者医療特別会計

○ 最近年度予算額

年 度	歳入歳出予算額	平成21年度を100とした指数	対前年度伸率
平成21年度	645,000	100.0	—
平成22年度	660,000	102.3	2.3%
平成23年度	629,000	97.5	△ 4.7%
平成24年度	675,000	104.7	7.3%

○ 前年度対比表

(歳入)

(単位:千円 %)

款 別	平成 24 年 度		平成 23 年 度		比較増減	対 前 年 度 伸 率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1. 保 険 料	352,152	49.6	311,715	49.6	40,437	13.0
2. 繰 入 金	321,784	50.2	315,921	50.2	5,863	1.9
3. 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4. 諸 収 入	1,063	0.2	1,363	0.2	△ 300	△ 22.0
歳 入 合 計	675,000	100.0	629,000	100.0	46,000	7.3

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

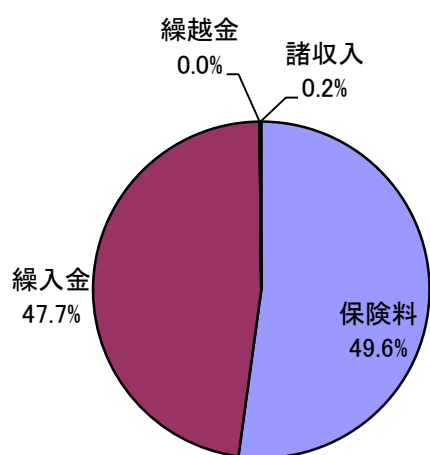
(歳出)

(単位:千円 %)

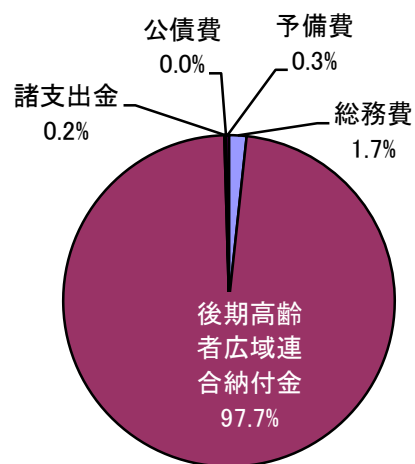
款 別	平成 24 年 度		平成 23 年 度		比較増減	対 前 年 度 伸 率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1. 総 務 費	11,518	1.7	10,836	1.7	682	6.3
2. 後期高齢者医療 広域連合納付金	660,430	97.8	614,812	97.7	45,618	7.4
3. 諸 支 出 金	1,051	0.2	1,351	0.2	△ 300	△ 22.2
4. 公 債 費	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5. 予 備 費	2,000	0.3	2,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計	675,000	100.0	629,000	100.0	46,000	7.3

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

歳入の構成比



歳出の構成比



※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。